

中頭病院症例③

Q NUT carcinoma との鑑別について

NUT carcinoma

定義 NUT 遺伝子の転座 (t (15 ; 19)) により定義される未分化な癌  
NUT midline carcinoma ともよばれる。分化傾向に乏しい未分化ながん細胞の  
単調なシート状、胞巣状増殖からなる。

特徴 胞巣内に明瞭な角化が突然出現する (abrupt Keratinization)  
NUT 蛋白の検出が診断に有用であり NUT 抗体免疫染色により、  
核内に顆粒状の陽性像を示す。

今回自施設の症例を見直してみても、  
形態的には核小体が明瞭な点、  
臨床的には右肺門部に腫瘍があること、若年成人という点で NUT carcinoma  
が考えられる点がありました。  
しかし、腫瘍細胞の単一な増殖の印象は弱く、  
また特に Pap 染色で腫瘍細胞の異型に乏しく、未分化な腫瘍は考え辛かったです。  
NUT carcinoma の特徴である突然の角化した細胞は見られませんでした

NUT carcinoma と他の腫瘍に対する鑑別には  
未分化癌、低分化扁平上皮癌、小細胞癌、嗅神経芽細胞腫の high grade 病変、  
Ewing 肉腫/PNET,  
などが挙げられるようです。

未分化な腫瘍と思われる症例に関して、NUT carcinoma を念頭におき、NUT 抗体を用いた  
免疫染色の追加を考慮することが大事だと考えました。  
ずれた回答になってしまったかと思いますが、ご質問有り難うございました。

文献：腫瘍病理鑑別診断アトラス 頭頸部腫瘍Ⅱ  
肺癌取り扱い規約第8版